

# 「森」と「水」と「子どもたち」… シャープの環境社会貢献活動が広がります。

シャープは、労使共同のボランティア組織「シャープグリーンクラブ(SGC)」と環境安全本部の環境社会貢献部を中心に、「森」と「水」と「子どもたち」にかかわる環境社会貢献活動を展開しています。活動を通じて従業員の環境意識やボランティアマインドは飛躍的な高まりを見せており、今後、活動相互の連携を図るとともに、グローバルでの展開をめざします。



①

②

③

① 上海日本人学校での環境教育 ② 福岡シャープ高祖の森 ③ 守屋池の水質浄化システム

## シャープグリーンクラブ(SGC)の発足と 若草山グリーンキャンペーン

シャープの全社レベルでの環境社会貢献活動は、環境安全本部が中心になって1998年からスタートした「グリーンマインドキャンペーン」にさかのぼります。「ムダゼロ運動」、「ゴミゼロ運動」、そして「環境市民活動」で構成したこのキャンペーンの中で「環境市民活動」については、事業所周辺の定例的な清掃活動や近隣地域での清掃キャンペーンへの参加という形で定着しました。そして、さらに大きな社会貢献を図りたいとの意識が高まり、そのためには全社レベルの推進母体が必要とされました。

シャープグリーンクラブ(SGC)は、そうした背景のもとに2003年6月、労使共同のボランティア組織として発足し

ました。発足直後の7月26日には、環境社会貢献活動への本格的な取り組みのスタートを印象づけるビッグイベントとして、奈良若草山の景観保全に貢献する「若草山クリーンキャンペーン」を実施。関西地区の従業員とその家族や知人、協力会社の方々など1,200名を超える参加を集め、従業員の自然環境保全とボランティア活動に対する関心は、一気に高まりました。今日ではSGC活動はすっかり定着し、2007年度には国内で延べ27,405名の従業員が参加しました(国内グループ総人員31,600名)。

SGCは、活動の目的を「従業員自らが、汗を流して活動することを通じて、地域社会に貢献するとともに、環境意識とボランティアマインドの高揚を図る」ことに置いています。


## 拠点所在地の近隣で、自然を保護・再生する「シャープの森」を展開



「シャープの森」づくりは、若草山に続くSGCの主要活動の一つとして2004年の広島県「八本松吉川シャープの森」を皮切りに、全国の事業拠点や営業・サービス拠点所在地を中心に展開しています。その基本コンセプトは、「森・いきもの・人のつながりを理解し、きずなを深め、地球環境へのやさしい心をはぐくむ」こと。荒廃した森に木々を植栽・整備して再生するとともに、自然とのふれあいを通じて従業員の環境意識の向上を図りながら、地域社会に貢献することを目的としています。

2007年度は営業・サービス拠点にも取り組みを拡大し、香川県高松市と福岡県前原市で「シャープの森」を開設しました。高松と福岡の拠点は、事業拠点と比べると小規模ですが、従業員が積極的に自治体や地域の方々と連携し、また系列販売店の方々にも呼びかけて多くの参加を得ています。

さらに2007年度には、三重県亀山市と沖縄県那覇市でも、森づくりの準備を進めました。この2カ所を加えて、「シャープの森」の活動は国内計10カ所となります。それぞれの森は1カ所平均約2haの広さですが、規模は小さくとも従業員をはじめ、取引先や地域の皆さまとともに、大切に育んでいきたいと考えています。

 シャープの森づくり

## 環境技術応用による、ため池の水質浄化への取り組み



ため池などの閉鎖性水域では、有機成分・窒素・リンなどを原因とする富栄養化と呼ばれる環境悪化の傾向がみられます。シャープの環境社会貢献部は、大阪府立大学生命環境科学研究科・宮武教授の「過熱水蒸気で作った炭」とシャープの「太陽光発電システム」で駆動する「マイクロナノバブル装置」を組み合わせ、炭と微生物の力を応用した水質浄化システムの実証実験を、2007年11月から大阪府堺市の守屋池で開始しました。

「守屋池の水質浄化作戦」は、環境活動による地域の活性化を推進するNPO法人 ONE WORLD for children がパイプ役となり、「守屋池を愛する会」をはじめとする地域の方々を主役に、産・官・学・民が一体となって取り組んでいることが特徴です。

## 明日香の歴史的景観を守ります

2006年10月より、奈良県明日香村で歴史的景観の保全と従業員の環境意識の高揚を目的として、荒れた棚田や放置林、竹林などを整備し、万葉にちなんだ樹木の植樹や鳥の巣箱の設置など、森を再生して里山公園をつくる取り組みを進めてまいりました。明日香村からは、これまでの私たちの森づくり活動を評価いただき、「明日香村自治功労者」として感謝状をいただきました。

これからも地元の方々とともに、万葉の風を感じつつ、楽しみながら森づくりを進めてまいります。



ソーラーシステム事業本部  
総務部長  
高井 信吾

## SGCが「平成19年度奈良県環境保全功労賞」を受賞

毎年1,200名以上の従業員とその家族が参加して実施する若草山での景観保全活動や、「SGC明日香の森」、「天理古墳シャープの森」での植栽・整備活動、および事業所周辺の清掃活動など、地域への継続的な貢献活動を評価いただきました。



## 守屋池から地域の活性化をめざします

2004年、私たちは「子供たちの未来に希望のある社会環境の創出」をめざし、NPO法人として活動をスタートしました。

「守屋池の水質浄化作戦」では、毎月1回、大阪府立大学 宮武先生の指導のもと、シャープさんと地元の方々や大学生の皆さんが参加して、定例活動を行っています。この活動の最終目的は、市民自らが地域環境づくりを行うことにより、池を中心にコミュニティの活性化が始まることにあります。



NPO法人  
ONE WORLD for children  
代表理事  
松本 かずみ さま

## 自然にやさしい環境技術で水の浄化に取り組みます

太陽光発電システムを使用した「マイクロナノバブルによる池に棲む微生物の活性化」と「過熱水蒸気で作った炭による池の中の有機物の吸着」という2つの環境技術により、自然に配慮した方法で池の水質浄化に取り組んでいます。

ため池の水質浄化には時間がかかりますが、産・官・学・民の連携で守屋池の浄化を図ると同時に、太陽光発電システムの新たな社会的ビジネスモデルとして成功させたいと思います。



環境安全本部  
環境社会貢献部  
参事  
赤塚 秀一



**NPO法人 気象キャスターネットワークと連携し、全国の小学校で環境教育を実施**



シャープは、環境社会貢献部が推進母体となって、NPO法人 気象キャスターネットワークと連携し、2006年10月から小学校4～6年生を対象とする出前授業方式の環境教育を実施しています。授業の内容は、「地球温暖化とリサイクル」もしくは「地球温暖化と新エネルギー（太陽光発電）」のいずれか。地球温暖化については、気象キャスターが身近な気象変化を例にあげながら解説し、リサイクルや新エネルギーについては、シャープの講師「ECO・ナビゲーター」が実験を交えて紹介します。

2007年度は全国から1,000校を超える応募が寄せられ、抽選の上537校で出前授業を実施、約37,000名の児童の皆さんにご参加いただきました。全国各地での授業を可能とするため、講師役として、全国の営業・サービス拠点の社員をECO・ナビゲーターに選任しています。2007年度には280名から約320名に増員し、充実した体制で環境教育を推進しています。

2008年度も500校以上で環境教育を実施する予定です。特に北海道の小学校では、2008年7月に開催される北海道洞爺湖サミットに向けた「洞爺湖サミット道民会議応援事業」の一環として、サミットに関連した内容についても伝えていきたいと考えています。

今後は、「環境にやさしいモノづくり」や、「環境と身近な自然」などのテーマへも発展させ、「モノづくりの楽しさや自然の大切さ」も伝えていきたいと考えています。

一方、海外では、中国の小学校を対象に、リサイクルをテーマにした環境教育を始めようと、上海市の日本人学校で授業を行うなど、準備を進めています。また、アメリカのニュージャージー州やカリフォルニア州でも、地元のNPOなどと連携して太陽光発電をテーマにした環境教育の実施を計画中です。

徐々に幅を拡げる「森」と「水」と「子どもたち」の活動。シャープは、これらの活動を未来を見つめながら、しっかりとした考えのもとに息長く継続させていきます。今後は、「森と水」、「森と子どもたち」といったつながりにも着目し、それぞれの活動を連携・融合させた新たな活動も展開する考えです。

**夢を叶えるために、地球環境をより良く**

昨年度は環境授業においてさまざまな栄誉ある賞をいただきました。ひとえに、シャープ様のおかげだと思っております。

私たち人間は、誰もが夢をもって生きています。夢を実現するためには、地球環境をより良くすることが大切だと考えます。今年度もシャープ様のお力添えをいただきながら、私たち人類の最大のテーマ「地球温暖化防止」に取り組んでまいります。



NPO法人 気象キャスターネットワーク代表  
平井 信行さま

**小学校環境教育が3つの賞を受賞しました**

地球温暖化防止や新エネルギーの啓発活動が高く評価されました。

- パートナーシップ大賞  
「パートナーシップ賞」  
(主催：NPO法人  
パートナーシップ・  
サポートセンター)
- 新エネ大賞  
「資源エネルギー庁  
長官賞」  
(主催：財団法人  
新エネルギー財団)
- エネルギー広報活動表彰  
「資源エネルギー庁  
長官賞」  
(主催：財団法人  
社会経済生産性本部)



**北海道から世界の環境問題に貢献できるエキスパートを**

環境問題についての子どもたちの知識の高さには驚かされます。また、授業で見せてくれる笑顔は本当に輝いており、教える側としても貴重な体験をさせていただいています。

今年は北海道でサミットが開催され、当地の方々の環境への意識も非常に高まっています。より内容の充実した授業を行い、地域から世界の環境問題の解決に貢献できる子どもたちが生まれるお手伝いができるよう頑張ります。



札幌ECO・ナビゲーター  
シャープ エレクトロニクス  
マーケティング(株)  
北海道統轄支店 管理部  
課長  
佐々木 寛

**地球を守りたいという気持ちは世界共通です**

全国の小学校に加えて、上海日本人学校やインターナショナルスクールへも訪問させていただき、授業をしました。どこへ行っても子どもたちはみんな目を輝かせて真剣に授業に参加してくれます。地球を守りたいという気持ちは世界共通だと感じました。

今後も未来を担う世界中の子どもたちへ感動を与える授業をしていきます。



環境安全本部  
環境社会貢献部  
主事  
齋藤 智恵

Web 小学校環境教育の実施  
みんなでECOファン